

参考様式（別記様式第4号に添付する事業実績書（当該年度分））

事業の名称	だれもが安心して産み・育てられる環境構築支援事業
実施内容	<p>活動内容（いつどこで何をしましたか？）</p> <p>※準備を含め、実施した活動の日時、内容、場所、参加人数等を記載してください。</p> <p>1. 第1回会議</p> <p>日時：11月18日</p> <p>▼はいはい</p> <p>場所：ハピネス大広間</p> <p>対象：子育て中の夫婦（子育てに関係する仕事をしている人、学校の先生、おばあちゃんとかにも来てほしい）</p> <p>周知方法：情報告知端末で</p> <p>時期：2月25日(土) or 26日(日)</p> <p>▼病児保育</p> <p>内容：座談会形式(一本釣り、募集)ほいくるの概要の説明、座談会形式で下川の現状を吸い上げ</p> <p>日時：3月27日～31日（平日が参加しやすい）</p> <p>場所：ハピネス大広間</p> <p>▼アンケート</p> <p>アンケート内容について検討（各委員から質問内容をタマだし）</p> <p>▼その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議やイベントで預けるにしても保育士がいらない ・保育士を登録制にしてイベントや会議で入ってもらえる人を確保する ・自分の子供もつれてきてOK ・名寄市のシステムと連携する→ファミリーサポートセンター ・プロジェクトチームを作ることも今後検討 <p>2. 第2回会議</p> <p>日時：12月4日</p> <p>▼日時</p> <p>平成29年1月28日（土）16:00～ ※18:00～の間違い（予定）</p> <p>▼会場</p> <p>下川町 総合福祉センターハピネス</p> <p>▼講演内容</p> <p>仮タイトル「知っていますか？ 不妊のこと」こちらが良いと思います</p>

または、

「誰もが安心して産み育てられる環境づくりのために～不妊について知ろう～」など

▼内容について：順不動

- ・妊娠の知識をチェック（事前アンケートとからめて）
- ・妊娠のしくみ
- ・不妊について（原因、男女の違いなど）
- ・不妊治療について（どのような治療があるか、期間や費用など）
- ・日本の出産や不妊治療の現状（婚姻・出産年齢の推移、治療による妊娠率など）
- ・不妊治療の現状（5.5組に1組が不妊、治療による負担、仕事との両立）
- ・NPO法人 Fine について
- ・体験者の声（状況に応じて）
- ・人生の選択とライフプラン（若い方が多い場合）
- ・Fine からのお知らせ（相談やサポートなど）

3. 不妊治療の理解に関するアンケートの実施

▼期間

平成 29 年 1 月 18 日～1 月 31 日

▼回答者

65 名

▼回答内容

総勢 65 名の方から回答があり、30 代の回答が 35 名、40 代の回答は 21 名、20 代は 9 名であり、30 代～40 代の回答が多数を占めていた。不妊治療をしたことがあると回答した方は 11 名（23%）であり、アンケートを実施した約 5 人に 1 人が経験していた。

4. 不妊についての講演会「知っていますか？妊娠と不妊のこと」

▼期間

平成 29 年 1 月 31 日

▼参加者

19 名

▼内容

不妊治療についての講演

アンケート

5. 運動発達カラダづくり～あそびで目覚めるところとカラダ～

▼期間

平成 29 年 2 月 25 日

▼参加者

32 名

▼内容

カラダのことについての講演
親と子でカラダを動かす運動

6. 子育て座談会

▼期間

平成 29 年 3 月 29 日

▼参加者

13 名

▼内容

名寄市の取組みについて講義
子育て環境についてディスカッション

参加者の反応や主な感想

※聞き取りやアンケート等による参加者の反応や主な感想を記載してください。

1. 不妊治療アンケート

- ✓不妊治療の支援を使ってみたいと回答した方はアンケート全体の 85%
 - ✓必要な支援内容として距離・時間的な制約や経済的な負担が大きいため不妊治療に係る経費的な支援や時間的な問題を解消する仕組みが必要
 - ✓使ってみたい理由の 75%は経済的支援があるから
 - ✓使うのをためらう理由として、「不妊治療をしていることが町内に知られるのではないか不安」などのプライバシーの問題であるとの回答は 67%
- ※…具体的な回答などもいただいておりますが、匿名性を確保するため割愛しています。

2. 子育て座談会

- ✓学校にはいったん家に帰ってから遊びに行くルールがある。
- ✓学校から直接行ける場としては児童クラブや図書館などがある。
- ✓日曜日の日中子供を預かってもらえる場がない。
- ✓子供がインフルエンザになったら身動きが取れなくなる。
- ✓お母さんの集える場がない、例えばコーヒーを飲みながらお母さんとお話できる場（室内で遊ばせたり、目の届く範囲で外で遊べる場など）。
- ✓子供の寄り道 OK な場が欲しい（理由は両親が共働きであり、学校ルー

	<p>ルでいったん家に帰らないといけないと冬場などはすぐ暗くなることから、外出せず一人で家でゲームやテレビなどを見ることになる)。</p> <p>✓少子高齢化でスポーツの幅が少ない、子供の習い事が将来の不安。</p> <p>✓例えば、総合スポーツクラブなどをつくって、そこで様々なスポーツを体験できたら良いさらに、公区費の中にある子供会費を一か所にまとめて、上記のクラブが放課後や休日など活動を行うなど。</p> <p>✓このようなざっくばらんに話ができる場を日時を変えて（昼など）開催して欲しい。話したいお母さんはたくさんいると思う。</p> <p>✓習い事について、子供の将来性を考えて選択肢の幅を広げて欲しい。</p>
	<p>反省点やまちづくりへ向けた意見等</p>
	<p>※活動を通して得た反省点、次の活動へつなげる提言、まちづくりへ向けた意見等を記載してください。</p> <p>不妊、子供の運動・発達、子供の放課後問題、習い事、病児保育など下川町の子育て環境について、現状の把握と様々な意見を頂いた。今後は町民との意見交換を行いながら課題に対する原因を探ると共に、有識者を招聘した講演会や、上記課題を解決している先進的な取組みについて学ぶなど、課題の解決方法の探求や、普及啓発などを行う。</p>

別紙決算書（当該年度分）を必ず添付してください。

その他、活動の実績を理解するために参考となる資料（チラシ、記事、写真、アンケート等）があれば添付してください。